



令和3年度牧之原市立相良中学校グランドデザイン

校訓

自立・敬愛・探究



学校教育目標

感動を創り 夢を拓く相中生

重点目標

自ら鍛え 共に高め合おう

新学習指導要領で育成を目指す資質・能力の三つの柱

- 1 生きて働く「知識・技能」
- 2 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- 3 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」

静岡県教育方針

「有徳の人」の育成

- 学力の育成
- 徳のある人間性の育成
- 健やかでたくましい心身の育成

牧之原市の教育

「こころざしをもち夢ある人づくり」

- ・気づき、考え、行動する人を育成します
- ・確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します
- ・人を思いやり、人との対話を大切にする心を育成します
- ・豊かさが実感できる教育を推進します
- ・地域活動の充実を図ります

生徒の実態

- 生徒会を中心にして、生徒の手による活動が意欲的に進められている
- 授業を大切にしようとする姿勢が育っている
- 挨拶、黙働清掃、歌声に誇りを持っている
- 家庭学習を取り入れた生活リズムの定着
- コミュニケーション力やたくましさの不足

学校経営目標

「生徒の主体性を育む教育活動の推進」

- 生徒が自分たちの手で自分たちの学校を創る
- 勢いと活力ある教育活動の推進

学びづくり部

仲間とともに学び合い、高め合う力を育てます

- 授業を通じて向上心を持ち自らを高めようとする姿勢を育てます
- 自分の思いや考えを持ち他に表現する力を育てます
- 学習の基礎基本を身に付けるとともに、確かな学力を育成します

4つの耀（ステージ）

4月

出会いと決意の耀

新たな人・もの・こととの出会いを大切にし、これからの自分のイメージを描く

誇りづくり部

- ◇よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てます
- ◇生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を育てます
- 七耀祭などの学校行事で、主体性を育てるために、話し合い活動を多く取り入れるとともに、個人や集団の目標を設定して取り組みます

11月

飛躍の耀

支え合ってきた人・もの・ことに感謝し、仲間とともに新たなステージに向かって力強い一歩を踏み出す

地域に誇れる相中

自分たちの手で自分たちの学校を創る
生徒会活動

↓
4つの誇りを向上させる！（継承と創造）
「つながる授業」・「さわやかな挨拶」
「黙働清掃」・「感動する歌声」

6月

挑戦の耀

学習や部活動等に全力で取り組み、自己や集団の良さと可能性を引き出す

たくましさづくり部

主体的に行動する力、自己肯定感とレジリエンスを育てます

- 様々な活動を「生徒の手で行う」ことを大切にします
- ・集会や黙働清掃を生徒の手で
- ・相中ハンドブックの見直し
- 「支え合い、認め合う仲間づくり」「受容と対話と自己決定」「安心安全な学校づくり」を進めます
- ・いじめへの早期対応・防災教育
- ・不登校の減少・交通マナー 等

9月

創造の耀

集団でよりよいものを創りあげ、共に高め合う喜びを感じる

教務部・研修部

仲間と切磋琢磨しながら思いを持って粘り強く取り組む力を育てます

教務部

- 活動を見通し生徒に思いをもたせる教育計画を作り、価値付け、振り返りを行います
- 前例にとらわれず、積極的な教育活動の提案、実践に取り組みます

研修部 テマ「学び合い、高めあう授業」

- 教師、生徒双方向からの授業づくりを推進します
- ・教師：授業設計シート、まなびのあしあと
- ・生徒：授業を見合う会、授業づくり集会

事務部

生徒の豊かな育ちを支援します

- 笑顔の接遇、迅速な対応を行います
- 予算の効果的執行をします
- 学習環境の整備を進め、教育活動を支援します

キャリア教育を軸とした小中一貫教育

- キャリア教育の一環としての防災教育
- 9年間で目指す児童生徒の姿の共有
- キャリアパスポートの活用

子どもたちの今と未来のための
望ましい教育環境づくり

コミュニティ・スクール推進

- 学校運営協議会2年次
- …地域・保護者が理解、協力する
- 職業体験・講話、ボランティア等での連携
- 人的・物的資源の活用、社会教育との連携

働きやすい職場環境

- 勤務時間の把握と改善 ・ICカードによる勤務時間把握 ・定時退庁
- 校務の整理 ・各部会の時間割への組み入れ ・会議時間確保 等
- 教師の意識改革 ・スケジュール管理 ・部活動ガイドライン遵守

保護者・地域との連携

- ホームページ、学校だよりでの情報発信
- 地域貢献活動（ボランティア）参加
- 家庭学習の習慣化 等